

令和4年度 第2回西淀川区教育行政連絡会議事要旨

日 時：令和4年8月31日（水）10:00～11:00

場 所：オンライン（Teams）

出席者：（学校） 福小学校、大和田小学校、川北小学校、佃小学校、香簀小学校、出来島小学校、
佃西小学校、御幣島小学校、淀中学校、西淀中学校、歌島中学校、佃中学校
各校校長先生
（区役所） 中島 区長、難波 副区長
横内 こども福祉担当課長、向井 保健福祉課担当係長、
播谷 保健福祉課係員

○区長より開催の挨拶

○区役所担当より「に～よん漢字道場 evolution!」について資料にそって説明

- ・様々な予算を活用して漢検を実施している
- ・表彰状等を用意して、児童生徒の自己肯定感向上を目指している
- ・様々な要因があると考えますが、全国学力・学習状況調査によると自己肯定感について、令和3年度の方が平成30年度よりも高まっている。本事業の他にどのような要因により自己肯定感が高まっているのかご意見を聞かせたい。

○区役所担当より「令和5年度西淀川区教育担当が実施する事業の大きな方向性について」について資料にそって説明

- ・基礎学力の向上事業について、各学校で取り組まれている部分は変わらず、事務費等にて減を予定している。
- ・に～よん模試については、基礎学力の向上事業に含んでいる。除菌用の物品等の購入を想定している。
- ・たぶんか高校進学セミナー2022では、先生方からの紹介もあり、参加者が大きく増加した。新型コロナウイルスに伴い入国が削減されていたが、今後は入国の拡大が考えられるため、今後も利用者は増えるだろう。ついては、従事されるボランティアも拡大することより、スクールボランティア支援事業の予算を増やす予定。また、学びサポーターの予算が削減されることも考えられ、スクールボランティア支援事業は予算拡大を予定している。
- ・に～よん個別復習塾について、来年度はコマ数の拡大により、生徒の選択肢を増やせるようにしたい。
- ・にしよどグッドスタート事業について、後日、対象児童生徒のデータを学校に提供するので、外国に繋がるこどもへの市教育委員会への初期対応をお願いしたい。
- ・近年は、中学校を卒業し高校に進学していない、外国につながるこどもが多く区内に流入している傾向にある。そのようなこどもに対して学習支援が大事と考えており、支援の枠組みを教育環境の充実事業の中で構築していく。

○意見交換

- ・淀中 : たぶんか高校進学セミナーについては、参加者が多くなり、大変驚いている。本校内に設置されている多文化共生支援拠点「らんまん」では明らかに参加者が増えてきている。「ら

んまん」から聞くとところによると此花区の中学生も多く、今後はたぶんか進学セミナーの情報を此花区へ密に情報共有することも必要と思う。

・大和田小：本校の外国につながる子どもを見ると、日常会話は問題を感じないが、学習言語については不安がある子どももいる。全体的に子ども間のコミュニケーションはしっかりととられているが、学習言語の理解については分かったふりにならないよう、しっかりと見ていきたいと思っている。

・歌中：たぶんか高校進学セミナーについては、教員にとっても気づきを得られる機会であった。高校進学に特化することなく、学年や小中学校の垣根がない形で学校教育を理解するための機会があると良い。に～よん漢字道場については、学力の向上よりも自分の目標に向けて努力し取り組む、主体的な学びの姿勢を身に着けるところに重きを置いている。表彰状や住みます芸人の協力により、生徒も盛り上がり、効果的な取り組みと感じている。

・区役所：に～よん個別復習塾については、受講者希望者増加に伴い、定員を拡充している。保護者向け説明会の開催や学校からの紹介によるものと考えており、感謝申し上げる。今後は安定したサービスの提供をかなえるために、複数年度の協定締結も考えていきたい。

・歌中：に～よん個別復習塾については、選択肢が増えるのは良いと思う。塾の先生と学校の先生との意見交換会の場を設けると良いと思う。

・区役所：たぶんか高校進学セミナーにおける小学校との関わりについては、今年度、複数の小学校からたぶんか高校進学セミナーへの申し込みがあった。高校への進学は国によって考えが異なることもあるかと思うので、今後も小学校からたぶんか高校進学セミナーの紹介をお願いしたい。

○区役所より PTA・学校協議会からの意見について資料にそって説明

・区 PTA 協議会及び学校協議会会長より資料の意見が出ている

・今後も教育行政連絡会と学校協議会及び学校協議会会長会とは関わりを密にし、意見交換等を行っていく。

○区役所より子どもたちが一生忘れられないような体験ができる夢のある施策について資料にそって説明

・予算の枠組みを取り払い、子どもたちが感動する夢がある施策をご提案ください。

・職業体験では、区主催のものづくりまつり実行委員会がご協力できるかもしれない。実施を希望される場合はご相談ください。

・電子書籍による児童書の配信については、複数の他区において導入実績がある。

○意見交換

・淀中：夢授業については、他校にいた際に過去に実施したことがあるが、現役の選手でないと子どもたちからの反応は薄かった。しかし、卒業生にオリンピック選手がおり、学校に訪問いただいた際は生徒からの反応は良かった。また、卒業メッセージもいただき、大変好評であった。知名度が低い選手は技術を学ぶには大変良いが、感動は薄くなる。

・大和田小：本校で実施した夢授業では、認知度はそこそこであったが、卒業生であり親近感も湧いたこともあり、子どもたちからは大変好評であった。スポーツ選手に限らず、関わりがある人に訪問いただければ、子どもたちにとって喜ばれる機会になると思う。

・川北小：電子書籍は、コロナ禍で大変有効であると思う。ゲストを呼ぶことも子どもたちに

とって良い機会になると思うが、今の情勢では実施のハードルも高く、コロナ禍に適応した行いが大事と思う。こういった取り組みも、3年間は実施していただきたい。そして効果検証が大事だと思う。検定事業も長く続けていただいたおかげで、学校でも良い効果がでてきた。

○その他

・ 区長 : 西淀川区は高齢化しており、かつ人口減少傾向にある。大阪市の中心部を除く区では多くがそのような状況であり、このままでは良くない。夢がある取り組みが有効ではないかと思う。ご提案や意見があれば教えて欲しい。